

単元名	自分たちが住む町を知ろう関わろう（地域発見・地域活性）		学年	5年生
内容	A_ものづくり		総時間数	35
目標	自分たちの町の歴史や伝統、ものづくりについて調べ、関わっている人の願いを知り、抱えている課題を解決するための方法を考え、発信する活動を通して、情報収集、選択・整理、共有、活用等の技能を身に付け、課題をよりよく解決する取組を試行錯誤しながら考え、自分や他者のよさを生かしながら進んで社会を良くしようと行動する態度を養う。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト①	〔自分たちの町の課題を知り、何ができるか考えよう〕 ・自分たちの生活に多くの人が関わっていることを知り、よりよく関わろうという意欲をもつ。 ・地元の商店街、企業、歴史的建造物等について、そこに関わっている人の願いや抱えている課題を知り、それを解決するためにどのような活動をすればよいか考えてコンセプトを設定する。 ・学習計画を考えて、ゴールへの見通しをもつ。			町会長 入新井特別出張所
デザイン①	〔町について知ろう〕 ・課題について深く知るために情報を集める。（ゲストティーチャー・現地取材・インターネット等を活用） ・集めた情報を選択、整理して、同学年のメンバーと共有する。課題を解決するための方法を考えてプレゼンにまとめていく。			入三銀座商店街 平和島駅商店会 ミルパ・オオゼキ イトーヨーカドー 磐井神社・浅間神社 守半海苔店・鈴木電気 田中畳店 等
クリエーション①	・効果的な発表の仕方について情報を収集して、発表に向けた準備を行う。	・効果的な発表の仕方について情報を収集して、発表に向けた準備を行う。		各課題を伝えてくださった方々
中間 発表				
コンセプト②	〔深く関わる計画を立てよう〕 ・中間発表の振り返りを行う。 ・ものづくりを通して地域に深く関われる自分たちで考えた方法を実現するために、具体的な計画を立てる。			
デザイン②	〔町と深く関わろう〕 ・課題等を解決していくために計画したことを実践していく。 （例）・伝統的な量のよさを伝えるために、畳でできる商品を創り出そう。 ・海苔のパッケージをデザインをしよう。 ・明るい神社になるように行灯を設置しよう。 等			入三銀座商店街 平和島駅商店会 ミルパ・オオゼキ イトーヨーカドー 磐井神社・浅間神社 守半海苔店・鈴木電気 田中畳店 等
クリエーション②	〔町との関わりを伝えよう〕 ・自分たちの関わり方を振り返り、広く地域に伝える準備を行い、実践する。 ・自分たちのまとめをする。			各課題を伝えてくださった方々 コミュニティ・スクールのメンバー
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
算数	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。			5
国語	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。			8
社会	・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。			2
外国語	・情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすること。			2
図画工作	・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。			3
総合的な学習の時間	・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。			15

単元名	地域の安全な暮らしについて考えよう (地域防災)	学年	6 年生
内容	B_地域の創生	総時間数	35
目標	地域の防災課と連携し、大田区の防災危機管理課の方から、災害時の危機管理に対する危機管理や防災に対する基本的な知識、ハザードマップの見方等を学び、それらを活用して問題解決をするための方法を考え、自分達に何かできることはないかを試行錯誤しながら、実際に子どもたち主催の防災訓練を計画することで、自分達の生活するこの地域のために貢献していこうとする態度を養う。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト①	〔地域の安全について考えよう〕 ・町会長から、地域の防災意識の低下が問題視されていることから地域で行われている防災訓練への参加依頼を受ける。 ・防災訓練を実施するために、防災訓練とはどんなものなのか。地域はどんな活動を行っているのかを知る。	コミュニティースクール 防災活動拠点会議	
デザイン①	〔地域の安全について調べよう〕 ・防災危機管理課の協力の下、風水害時の例をもとに、災害発生時に対する対応の仕方やハザードマップに対する基礎知識を学ぶ。 ・様々な災害について知識を広げ、自分たちが住むこの地域にどのような災害が起こる可能性があるか考える。 ・「地域安心・安全マップ～災害編～」の作成を行う。	大田区防災危機管理課 防災ハンドブック マイタイムライン 大田区ハザードマップ 防災活動拠点会議	
クリエーション①	〔地域の安全について伝えよう〕 ・効果的な発表の仕方について情報を収集して、発表に向けた準備を行う。 ・お世話になった方々、PTA、在校生に「地域安心・安全マップ～災害編～」の取組について伝え、災害や防災についての基礎知識を知ってもらう。	お世話になった方々	
中間 発表			
コンセプト②	〔子ども防災訓練について考えよう〕 ・自分たちのコンセプトに基づき、課題をよりよく解決する取り組みについて考える。 ・地域に住む人々が防災意識を高められるように、どのような防災訓練を実施すればよいか考える。		
デザイン②	〔子ども防災訓練について詳しく計画を立てよう〕 ・実際に実施可能な訓練についての計画を進める中で、地域の防災課や町会長と連携して、本来予定されている防災訓練の機会とどのように連携できるかを検討する。 ・効果的な実践方法について情報を収集し、調整して準備を行う。 ・実施内容について防災課と連携し、フィードバックを受ける。 ・フィードバックを基に実施内容を修正する。	大田区防災危機管理課 防災ハンドブック マイタイムライン 大田区ハザードマップ 防災活動拠点会議	
クリエーション②	〔子ども防災訓練を開こう〕 ・防災課や保護者、地域と連携しながら、子ども防災訓練を実施する。 ・保護者や地域の防災への意識の向上と、安全	大田区防災危機管理課 防災活動拠点会議 PTA 在校生	
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科名等	本単元で補完する内容		授業時数
算数	・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察すること。		3
国語	・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。		8
社会	・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。		2
理科	・世界と日本の火山と主な地震が起きた場所の図や、地震による被害や火山の噴火の写真を見て、地震や火山について問題を見だし、大地の変化について調べる。 ・地震や火山の噴火による災害や、災害に対する備えについて、調べたり考えたりする。		4
図画工作	・自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。 ・形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。		3
総合的な学習の時間	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。		15